

令和8年度（2026年度）

豊島区 当初予算案プレス発表

令和8年2月2日

令和8年度 予算案の概要

令和8年度予算案の特徴 -----	3
令和8年度歳入・歳出予算の内訳 -----	4
令和8年度予算案の規模・推移 -----	5
令和8年度予算編成方針 — 新たな基本構想・基本計画 -----	6
令和8年度予算編成方針 — 重点テーマ -----	7

令和8年度 予算案の主な事業

安全・安心 -----	9
子ども・子育て支援 -----	12
教育 -----	16
福祉 -----	18
健康 -----	22
産業振興 -----	24
共創の推進 -----	26
多文化共生 -----	27
まちづくり -----	28
公共施設等 -----	31
行財政運営 -----	33
おわりに -----	34



令和8年度予算案の概要



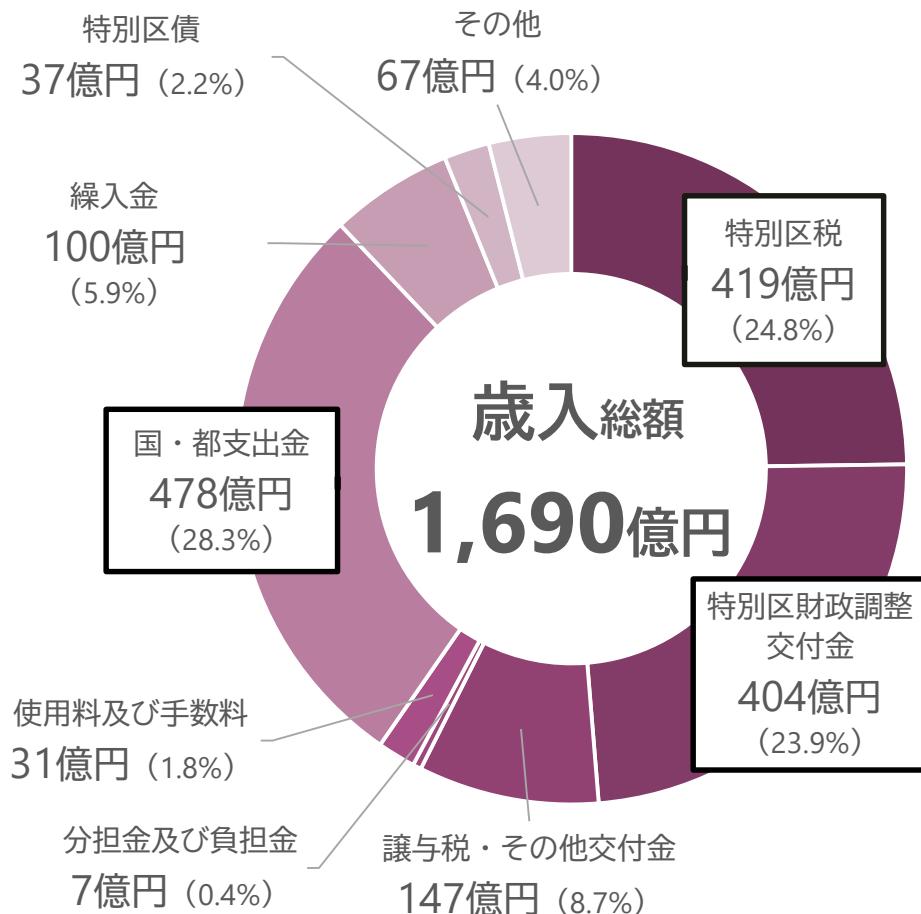
基本構想・基本計画の実現を加速し

持続可能な区政の礎となる予算

一般会計の総額

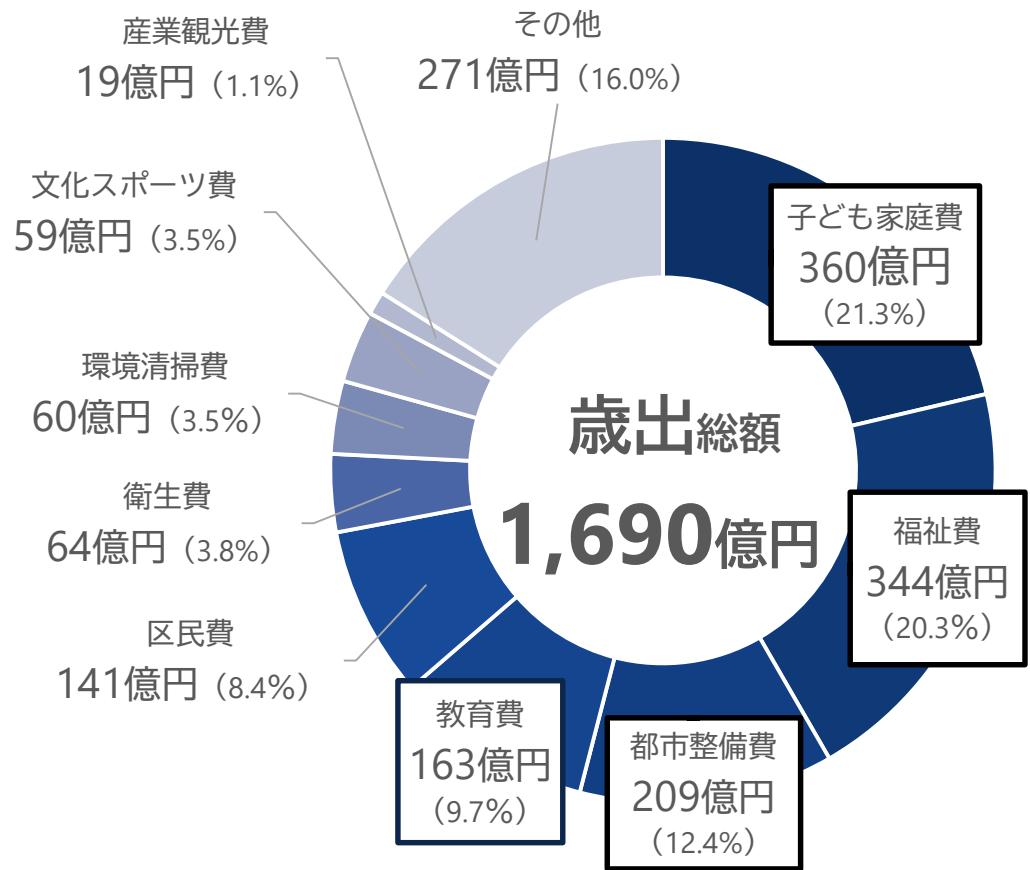
1,689億8千6百万円

(対前年度比 △16億7百万円)



◆歳入予算 経費別構成のポイント

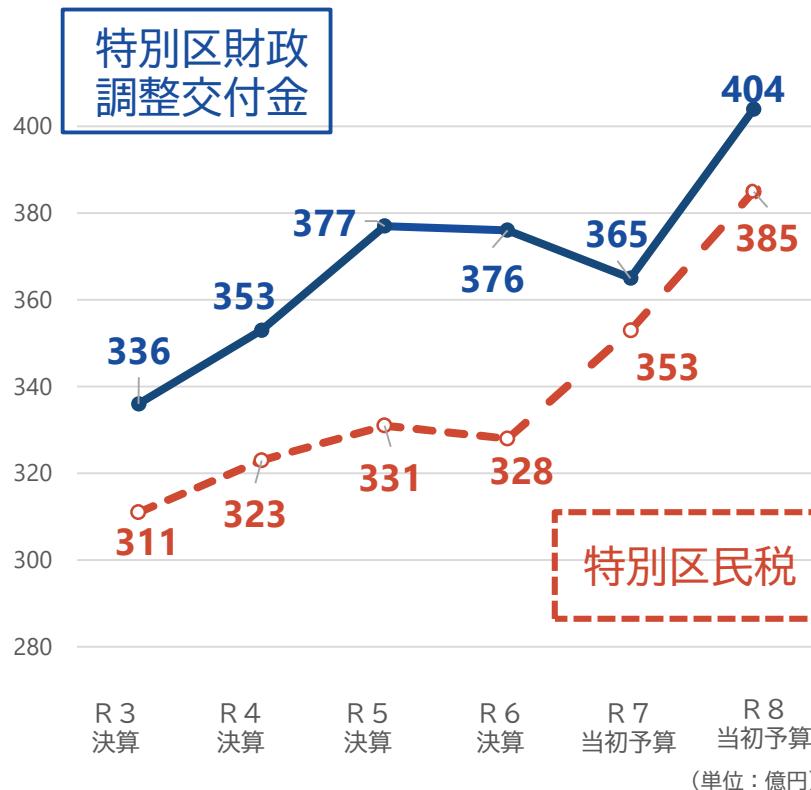
構成比は特別区税の24.8%、特別区財政調整交付金の23.9%で歳入全体の約半数



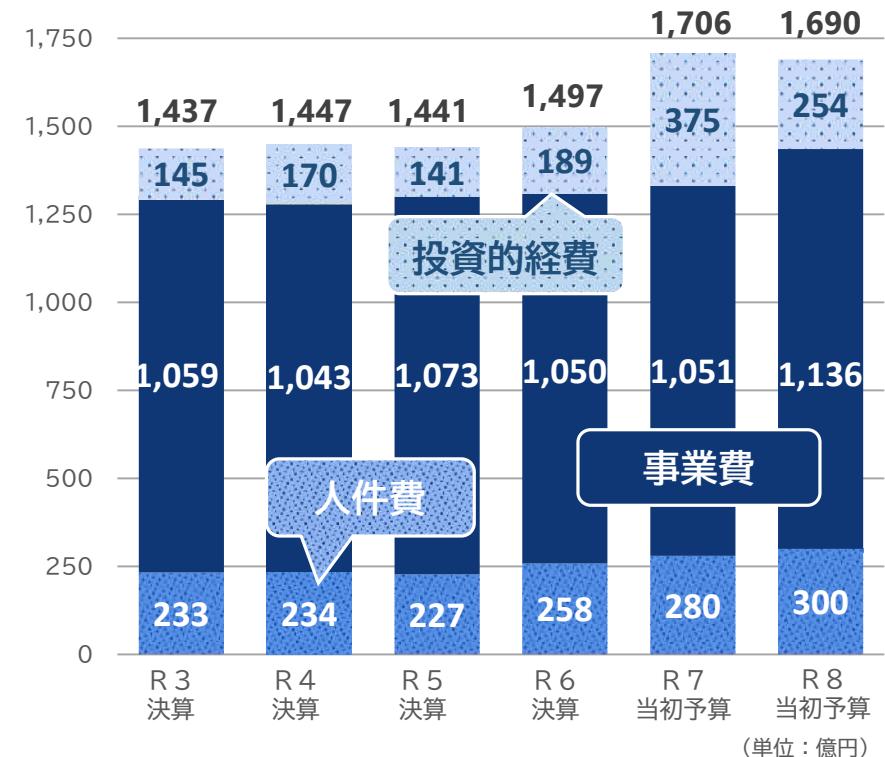
◆歳出予算 経費別構成のポイント

構成比は、子ども家庭費の21.3%、福祉費の20.3%で歳出全体の4割

主要な一般財源歳入の状況



歳出（経費別）の状況



◆ 予算のポイント

- 特別区民税は、対前年度比32億円増となる385億円を計上
- 特別区財政調整交付金は、対前年度比39億円の増となる404億円を計上
- 投資的経費は、千川中学校複合施設整備などにかかる経費として254億円を計上

新たな基本構想・基本計画

3つの理念

誰もが
いつでも主役

みんなが
つながる

出会いと笑顔が
咲きほこる、憧れのまち

7つのまちづくりの方向性

1

地域と共に支え
あう安全・安心
なまち



2

子育てしやすく、
子ども・若者が
自分らしく成長
できるまち



3

生涯にわたり健
康で、地域で共
に暮らせる福祉
のまち



4

豊かな心と活発
な交流を育む多
彩な文化のまち



5

活気とにぎわい
を生みだす産業
と観光のまち



6

共につくる
地球にも人にも
やさしいまち



7

誰もが居心地の
良い歩きたくな
るまち



3つの 継続する重点



3つの 新たな重点

新規・拡充事業全体（投資的経費を除く）

267事業、約60億円を計上



令和8年度 予算案の主な事業



※ 次ページ以降
予算額は表示単位未満を四捨五入

避難所運営の強化

◆ 避難所等備蓄物資の拡充

2億7,003万円

国や都の基準を踏まえ、避難所に必要な物資を整備するとともに、福祉避難所についても、避難者の特性に応じた物資の充実を図ります。

例 | 環境改善のための物資確保状況

テント



R7 2,900個
R8 2,900個

エアーベッド



R7 6,830個
R8 20,466個

—— 令和8年度中に必要数を確保 ——

防災備蓄品の充実を計画的に実施！災害への備えを強化

◆ 防災リーダー等の養成

382万円

新規

避難所環境改善のための知識・ノウハウを身につける実践的な研修を実施し、区民主導による避難所開設及び運営を可能とする体制を構築します。



災害に対応できる人材を強化！
訓練を実践的に

地域の安全・安心を守るためにの支援

◆マンションの防災対策 114万円

新規

一定の防災対策を実施しているマンションを対象に、マンション防災の専門家を派遣し、コミュニティの活性化や町会等地域との連携強化による防災力の向上につながる支援をしていきます。



住宅・マンション課

◆外国人向け防災啓発 91万円

新規

本区で発生する可能性のある地震や水害などの対応方法やその備えなどを易しくまとめたテキストを作成し、専門学校等への出前講座や防災イベントなどの啓発事業をきっかけとして、地域における防災訓練の参加にもつなげていきます。

対象6言語

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語

防災講座の実施

実施場所

日本語教室、専修学校各種学校、子ども食堂、外国人支援団体等

防災講座資料の多言語化

地震や水害などの対応方法やその備えなどを記載



◆区施設のAEDの屋外化 916万円

24時間使用可能なAEDの少ないエリアにある、区施設の屋外にAEDを設置し、24時間365日使用可能なエリアを拡げ、救命率を向上させます。



17か所 設置

危機管理担当

◆個人宅への防犯対策用品の購入・設置推進

1,214万円

個人宅の防犯機器を購入した区民に対する補助を継続し、防犯意識の向上と安全・安心なまちづくりの実現を図ります。

補助対象品（12品目）

①防犯カメラ	⑦防犯ガラス
②カメラ付きインターホン	⑧面格子
③防犯フィルム	⑨防犯性の高い玄関錠
④ガラス破壊センサー	⑩玄関補助錠
⑤センサー付きアラーム	⑪窓補助錠
⑥センサー付きライト	⑫防犯砂利

良好な生活環境の保全

◆ 大塚駅周辺における公衆喫煙所の設置

新規

712万円

良好な生活環境を守るために、大塚駅周辺に公衆喫煙所を新たに設置します。

区内全域のたばこに関する苦情 年間300件超え

大塚駅周辺のたばこに関する主な意見

- 裏路地の喫煙やポイ捨てが常態化している
- コインパーキングの敷地内で喫煙していて、煙が漂ってくる
- 歩行喫煙、路上喫煙が多い

設置イメージ



受動喫煙の抑制や
地域環境の美化を
着実に推進

◆ 民間事業者等による公衆喫煙所設置等への助成

1,040万円

公衆喫煙所を民間事業者等が設置できるよう、設置経費及び維持管理経費の助成を行います。

助成対象経費	助成率	助成限度額	回数/期間
設置経費	10/10	800万円	1回
維持管理 経費	10/10	年間 60万円	5年間

公衆喫煙所設置状況

区営 [既存]	1 池袋駅東口喫煙所
	2 池袋駅北口喫煙所
	3 池袋駅西口東京芸術劇場前喫煙所
民間 [助成金活用]	4 THE TOBACCO IKEBUKURO
	5 ファミリーマート立教通り店
	6 THE TOBACCO IKEBUKURO SECOND
	7 サンカクスクエア喫煙所

民間の関係団体とも連携し、路上喫煙・ポイ捨て防止への取り組みを進めていきます！

環境保全課

小型充電式電池等集積所回収事業

590万円

集積所におけるリチウム蓄電池等の回収を開始し、不適切な排出、混入による火災事故等の発生を防ぎます。

ごみ減量推進課

池袋保健所跡地を活用した居場所づくり

◆ 保健所跡地活用事業

3,951万円

新規

UR都市機構へ返却するまでの期間中（令和10年3月まで）、地域に開かれた交流・体験・学びの拠点として、池袋保健所跡地を暫定活用します。

アーバンスポーツを楽しめるほか、YA図書館サテライト、ケアリーバー等の相互交流、出張アシスとしま（子ども若者総合相談）、妊産婦・子育て世帯等の居場所事業を実施します。

みんなあつまれ！

アーバンスポーツ



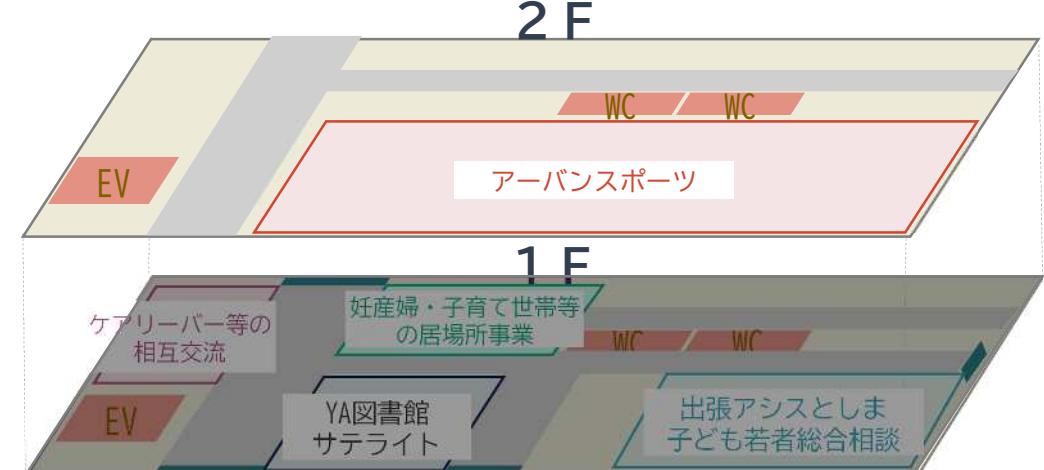
スケートボード



ストリートダンス



パルクール



保健所跡地住所：東池袋4-42-16

池袋保健所跡地を活用した居場所づくり

相談や交流を通じて孤立を防ぐ！

社会とのつながりをはぐくむ場



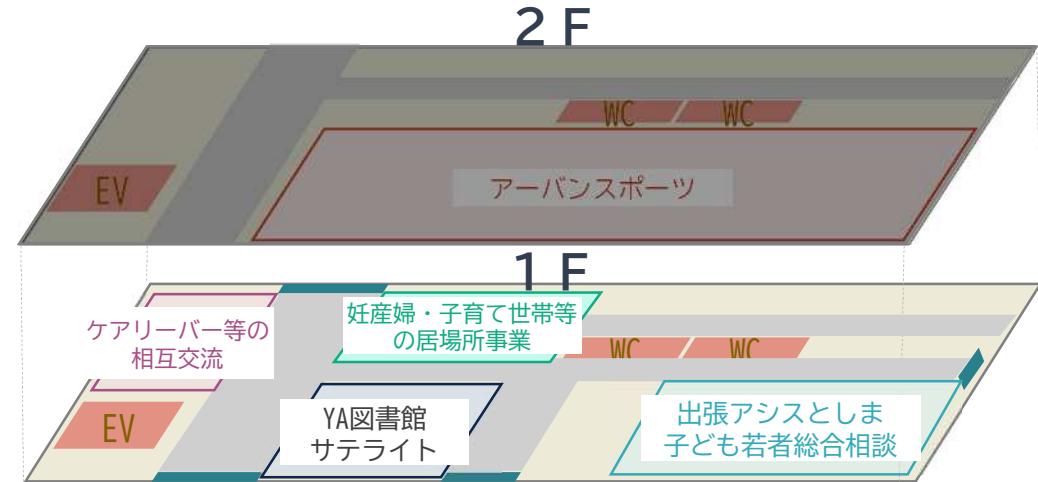
ケアリーバー等の
相互交流



YA図書館
サテライト



出張アシスとしま
子ども若者総合相談

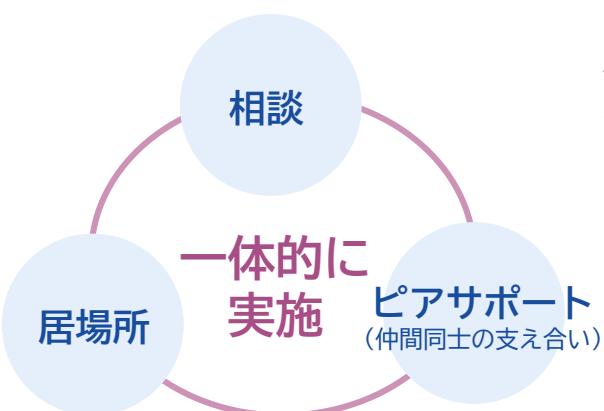


保健所跡地住所：東池袋4-42-16

区民
提案

◆ 妊産婦・子育て世帯等の居場所事業 新規 500万円

国籍や文化に関係なく、妊婦や子育て世帯が安心して子育てを楽しむことができる居場所を提供するとともに、子育て中の保護者等が無意識な偏見・ジェンダーへの理解を深めることができる講座や、食や文化を通じた多文化交流イベント等を開催します。



食や文化を通じた
多文化交流イベントも開催



子どもの体験格差の是正に向けた取組み

身近な区民ひろばで！子どもの体験活動&居場所創出

- ◆子どもの体験活動
- ◆夏休みの居場所事業

500万円

46万円

子どもの意見を取り入れた小学生対象の体験活動を実施するほか、夏休み期間には自習室として場を開設し、中学生の居場所を創出します。

小学生あつまれ！



中学生へ自習室開放



地域区民ひろば課

◆小学校芸術鑑賞教室の充実 1,582万円 新規

小学4年生を対象に、劇団四季のミュージカル『ライオンキング』を鑑賞する日帰り体験学習を実施します。

文化のまちならではの教育活動

◆誰もが参加できる インクルーシブ文化事業の創出

1,000万円

新規

子どもスキップでの文化体験事業や、アーティスト・地域との交流ができるワークショップなどを通じて、子どもたちにとって「かけがえのない体験」を創出します。特に文化に接する機会の少ない家庭環境の子どもの参加を促すとともに、会場への引率を含めたサポートを行います。



文化企画課

としま文化応援団【としま未来文化財団事業】

としま未来文化財団と区が両輪となって区民や企業から賛同金を募り、子ども・若者が参加しやすい文化体験の場を創出！

子どもたちの文化の裾野を広げていきます。



文化事業課

◆ RSウイルスワクチン定期予防接種

新規

8,430万円

令和8年4月から、妊娠に対するRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン）が定期予防接種となるため、区民の接種費用を全額助成します。

対象者

妊娠28～36週の方

自己負担無しで接種できます！

令和8年4月時点	予診票の発送時期
妊娠28～36週の方	令和8年3月末に予診票を自宅へ発送
妊娠28週未満の方	28週になる月の前月上旬に予診票を自宅へ発送

RSウイルスとは

RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。妊娠中の方にRSウイルスワクチンを接種することで、RSウイルスに対しての抗体が胎盤を通じて母体から胎児へ移行し、生まれた直後からRSウイルスの感染や重症化を予防します。



◆ 産後ケア事業の拡充

1億6,757万円

助産師等の専門職が常駐する施設（産科病院・助産院等）において、産後の母子に対して心身のケア等を行うため、宿泊日数を3泊4日から6泊7日に拡充します。

宿泊（ショートステイ）型の日数

3泊4日 拡充 → 6泊7日

自己負担額 2,500円／日

● 通所（デイサービス）型 3日／年

● 訪問（アウトリーチ）型 2日／年

(子ども一人あたりの日数)

負担の大きい時期に支援を充実！



健康推進課

◆ スムーズな就学につなげるための5歳児健診

新規

272万円

5歳児健康診査のモデル実施を行い、子どもの発達特性に応じて必要な支援が提供できる体制を整備します。

物価高騰に対応した就学援助の拡大

◆就学援助における認定基準及び支給金額の引き上げ と支給費目の新設 1億4,803万円

1 所得基準の引き上げ



例 | 認定となる所得額の例（世帯全員の合計所得額）

世帯構成（例）	現状	拡充
3人世帯 40・12・7歳	約398万円 未満	約445万円 未満
4人世帯 45・45・14・9歳	約417万円 未満	約470万円 未満

支援を必要としている世帯への拡大

2 「学習応援費」の新設 23区初

小学生 年額 14,000円
中学生 年額 13,000円

学習参考書等の購入や調べ
学習のための博物館見学など、子どもたちの興味関心
に応じた学習を支援



3 支給額の拡充 区独自

費目	現状	拡充
移動教室費◆ 修学旅行費◆	小5 6,200円 小6 16,300円 中1 17,000円 中2 31,000円 中3 64,600円	10,000円 20,000円 22,000円 36,000円 73,000円
卒業アルバム費◆	小6 11,000円 中3 8,800円	16,000円 10,000円
学用品費	小1 15,600円 小3 18,840円 小4 18,840円 中1 30,360円	27,600円 28,100円 20,000円 39,200円

◆は支給上限額
それ以外は定額支給

教育の機会が失われないよう支援強化

子どもの学びを支える環境の整備

◆ 小学校への校内教育支援センターの開設

新規

330万円

全中学校に設置した「校内教育支援センター」を、区内全小学校22校に開設します。（令和8年度2学期）

校内教育支援センターとは

- 学校には行けるけど自分のクラスには入れないなど、登校する習慣を身に付けたい児童向けの教室
- 教育センターの不登校対策スーパーバイザーなどを学校に派遣

学校と
教育センター
の連携



学習支援、自立支援を受け、
少しずつ教室へ戻ることを目指す



◆ 学習情報センターの整備 2,069万円 新規

学校図書館を改修し、プレゼンテーション機能等を兼ね備えたICT環境や、個別・協働学習スペースなどを充実させた新たな学びの拠点『学習情報センター』の整備を、要小学校、巣鴨小学校において進めます。



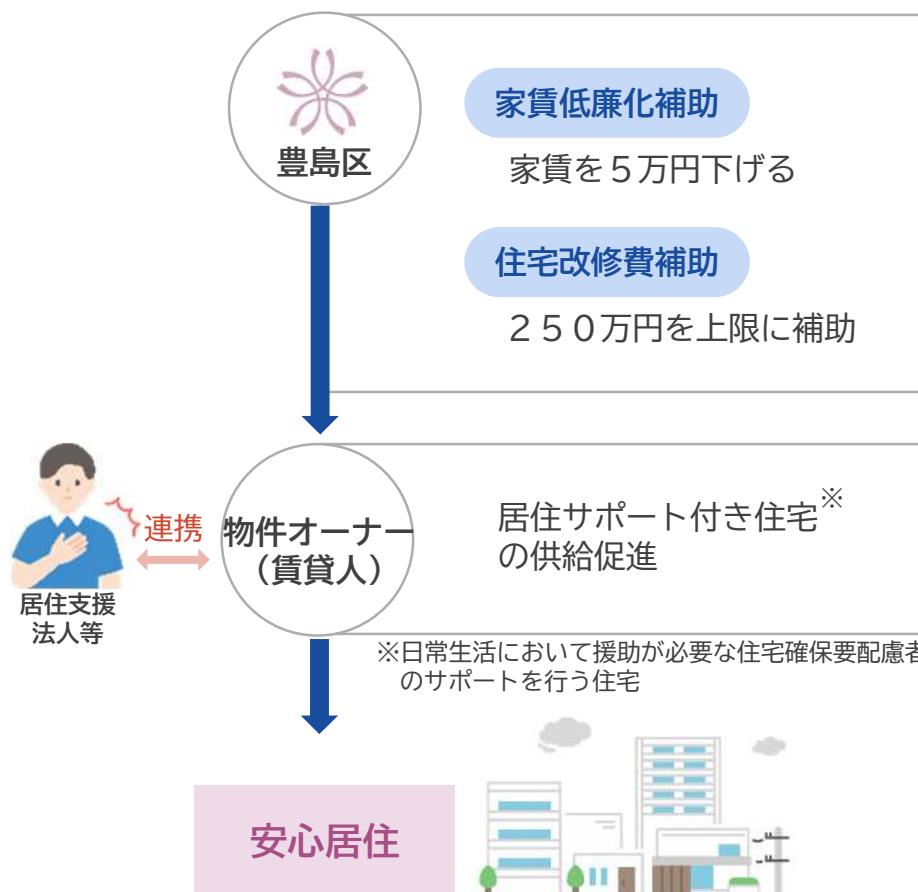
学校施設課

安心して住み続けられるための支援

◆居住サポート住宅の供給促進

3,501万円

「居住サポート住宅」の供給促進のため、住宅セーフティネット事業における家賃低廉化補助や改修費補助の対象を、居住サポート住宅にも拡充します。



国が定める居住サポート住宅のイメージ

1 ICTを活用した安否確認 (人感センサーなど)

2 訪問等による 見守り



要配慮者

3 福祉サービスにつなぐ

高齢者/障害者

- ・ホームヘルプ
- ・デイサービス

低所得者

- ・家計把握や就労の支援
- ・生活保護の利用

ひとり親

- ・自立支援員による相談
- ・子どもの学習支援

区の住宅サポート体制も強化！

居住サポートのための専管組織
くらし・居住支援課を創設

くらし・しごと相談支援センターに
住まい相談支援員を新設

“低所得者向け住まい相談”的
サポート体制を強化し
住まいの支援をきめ細やかに！

自立支援担当課

いつまでも自分らしく暮らせるための支援

◆ 入浴特化型デイサービスの拡充

2,233万円

自宅での入浴が困難な方の入浴ニーズに対応するため、要支援者等を対象とした入浴特化型デイサービスを拡充します。

1施設 東部地域

→
拡充

計3施設 区内全域

区民
提案

◆ キッチンカーによる 「まちかどカフェ」のオープン

396万円

新規

身近な公園でキッチンカーを利用した屋外カフェとパークトラックを組み合わせた「まちかどカフェ」を開催！高齢者、障害者、子育て世代などが外出するきっかけをつくることで、健康づくりや地域コミュニティの活性化を図ります。



◆ リフト付き福祉タクシーの運行

870万円

新規

高齢や障害により、車いす等を利用しなければ移動が困難な方への外出支援として、リフト付き福祉タクシーを2台確保し、移動支援事業を開始します。予約料金、迎車料金、基本介助料及びメーター料金の2割分を、区が負担します。

運行は24時間365日対応！

予約料金	区負担	
迎車料金	区負担	
基本介助料	区負担	
メーター料金	区負担	利用者負担
	2割	8割

区民
提案

◆ ケアする人が、ケアされる時間

491万円

新規

普段、ケアをする側・支える側のケアラーが、自身の状況や悩みを共有し、疲労感や孤独感を解消する場としての「語りの場」を開催します。

<語りの場>年4回開催



参加特典
保険外サービス
利用助成

<不参加の方向け>
セルフケアのための
情報誌を作成



障害者の日常生活を支えるための支援

◆ 心身障害者等福祉タクシー事業の拡充 1億4,532万円

生活の利便性と生活圏拡大を目的に肢体不自由者や視覚障害の方等に交付している福祉タクシー券について、物価高騰を踏まえ増額するとともに、生活保護受給者も交付対象とします。

年間支給額

現状	拡充
年額 39,600円	年額 44,400円

生活保護受給者も
交付対象に追加！

※下肢機能障害4級の方は、2,400円増の年額24,000円へ拡充

◆ 移動支援事業（ガイドヘルパー）の拡充 1億988万円

障害者及び障害児の移動支援の利用拡大に向け、対象要件を見直します。

要件見直しの一例

- ・身体障害者及び難病患者における年齢要件（65歳未満）を撤廃
- ・未就学児のうち、「保護者同伴であっても移動が困難である医療的ケア児」を対象に追加

◆ 重症心身障害児（者）等 在宅レスパイト・就労等支援事業の拡充 1,767万円

年間利用上限時間を拡充するとともに、看護師等の派遣先を自宅などに限定しない形に拡充し、外出時における保護者の介護負担軽減と社会参加を促進します。

①年間利用上限時間の拡充

144時間 → 288時間

②看護師等の派遣先（利用場所）の拡充

自宅・学校等 → 場所を限定せず
派遣が可能に！

23区初

自宅と学校等に限らず
看護師等の派遣が可能に！

拡充するサービス内容例

- ・学校行事で行うケア
- ・親戚や友人宅で行うケア
- ・図書館や博物館で行うケア

障害者の日常生活を支えるための支援

◆重度心身障害者（児）日常生活用具 給付事業の拡充 6,138万円

消化器等に障害のある方が日常的に装着が必要なストマ装具について、給付上限となる基準額を引き上げるとともに、新たに蓄電池・自家発電装置を給付種目に加え、区民の負担軽減を図ります。

①ストマ装具（人工肛門等）の基準額の拡充

種別	現状	拡充
消化器系	月額 8,858円	月額 10,000円
泌尿器系	月額 11,639円	月額 13,000円



②蓄電池・自家発電装置を給付種目に追加

対象者

医療的ケアが必要な障害者及び障害児

基準額

蓄電池	104,000円
自家発電装置	212,000円



自家発電装置

◆医療的ケア児等介護等支援助成

23区初

医療的ケア児及び重症心身障害児の保護者の負担軽減に向けた支援策として、介護等にかかる経費の助成を行います。
(としま子ども若者応援基金を活用)

助成額 一人あたり上限5万円

対象経費 医療的ケア児等の介護等に係る経費



電動車いすの
介助者用アシスト機器



見守りカメラ



フードプロセッサー

モノ以外も対象

付き添い入院時の費用、介護タクシー経費など

保健所の移転・リニューアルオープン

名称も
新たに！

令和8年5月7日 豊島区保健所リニューアルオープン

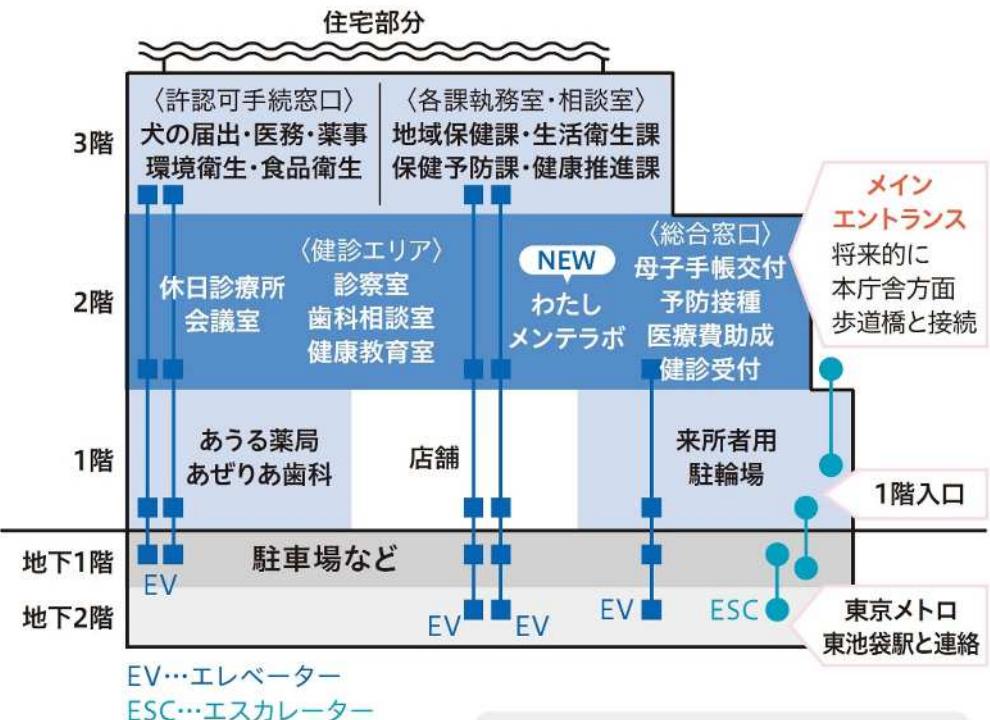
1 区役所本庁舎の向かい側に移転
東京メトロ東池袋駅から地下で連絡

2 2階に健診や手続き窓口を集約！
親子で入れるトイレやバギー置き場も充実

3 災害時は「医療対策本部」を開設



フロアマップ



駐輪台数 来所者用…約50台

保健所の移転・リニューアルオープン

◆わたしメンテラボ運営事業 2,495万円 新規

豊島区保健所開設に伴い、健康に関する「気づき」を得て「相談」ができる健康づくり支援拠点「わたしメンテラボ」を設置、運営します。



様々な測定機器

- 血压計
- 体組成計
- 骨健康度測定器
- 野菜摂取度測定器
- 肌年齢測定器
- 握力計

このほか、イベントに合わせ、測定機器を設置

↓
測定後

専門職の相談員によるアドバイスと情報提供
希望者には専門職による健康相談を実施（予約優先）



健康に関する「気づき」を得て「相談」ができる
「予防」に重点を置いた健康づくりの場

◆ ビジネスサポートセンターの強化 **790万円**

ニーズが高まる企業のDX化に対応するため、としまビジネスサポートセンターにDX相談窓口を新設します。また、より利用しやすく質の高い経営相談の窓口を目指して、オンラインによる経営相談の拡充や相談記録の電子化を実施します。

DX専門員による“DX相談”実施

◆ 中小企業支援補助金の拡充 **4,990万円**

区内中小企業を対象に実施している「中小企業支援補助金」について、業務効率化等の経営課題へ対応するため、DXへの対応経費に対し補助を行う新たなコースを設置します。

	開業支援	経営安定	DX補助金の新設
限度額	20万円	15万円	DX推進
補助率	2/3	1/2	1/2
メニュー種類	販路開拓・拡大、専門家活用・人材育成（経営安定のみ）		機器設置、ソフトウェア購入、クラウドサービス利用

中小企業のDXを推進！

◆ 起業支援の強化 **195万円**

区内における起業の機運醸成を図り、起業家を発掘することに加え、区内で起業するまで伴走する体系的な起業塾を開催し、地域密着型起業家を増やします。また、池袋駅構内スペースを活用したチャレンジ出店を実施します。

レベル別に起業塾を実施

入門コース

6月

1日(40名)
交流会あり

基礎コース

7月

①一般編
2日(30名)
②女性編
2日(30名)

実践コース

9～10月

5日(20名)

チャレンジ出店

冬
池袋駅構内
スペースに出店！

◆ 若年起業家賃料支援 **75万円**

昨今の賃料高騰に伴う若年層起業家の固定費負担を軽減し、区内若年層の起業を後押しするため、賃料支援の補助を行います。

対象者：起業初期又は起業予定で39歳未満、かつ一定の基準を満たしたもの
補助対象：店舗、事務所の賃料
助成額：月額5万円以内 × 12か月

若者の起業を
後押し！

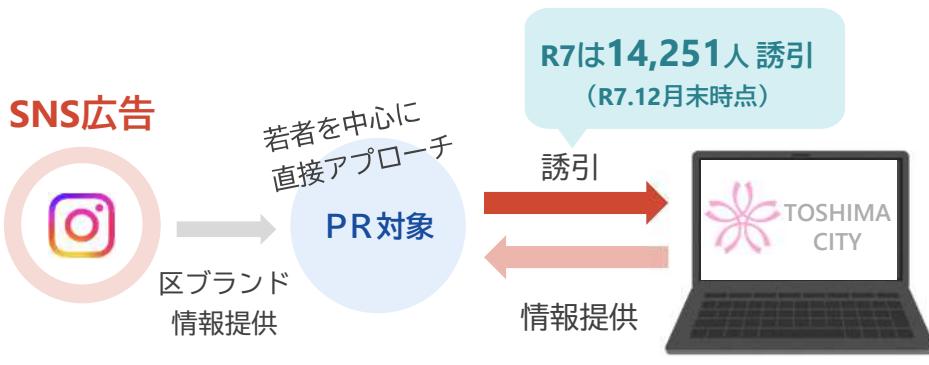
起業家支援をさらに強化！

シティプロモーションの推進

◆インスタグラム広告による区の魅力・活力のPR推進

944万円

SNS（インスタグラム）を中心とした広告配信により、豊島区のPRを推進します。ショート動画を活用し、豊島区のイメージ・認知度向上につなげます。



動画の内容をさらにバージョンアップ！



◆デザインマンホール蓋の設置

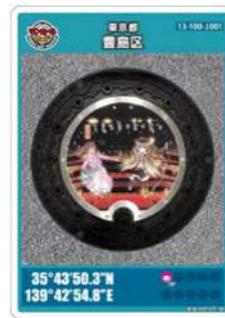
713万円

新規

豊島区・池袋にゆかりのあるアニメBanG Dream!（バンドリ！）等のキャラクターを用いたデザインマンホール蓋を新たに設置し、国内外からの観光客等の誘客及び周遊につなげます。



現在のデザイン
「池袋PRアニメ」



マンホールカードの配付
©豊島区©アニメイト

◆京都府自治体との マンガ・アニメ全国連携事業

200万円

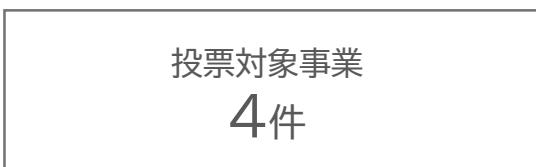
新規

全国連携プロジェクトを活用し、アニメプロモーションを積極展開している京都府内の自治体と連携！双方でマンガ・アニメのまちづくりをPRします。

企業等による事業提案制度の導入

豊島区企業等による事業提案制度

豊島区をより良くしたい企業等から、地域課題の解決につながる具体的な提案を受け、提案した企業等が実施する事業に対し、一定期間、区が支援を行う**共創**制度



企業
提案

◆ 企業等による事業提案制度補助金

新規

1,014万円

令和7年度の企業提案制度採択事業に対し、事業実施のための補助金を交付します。

採択
事業

未利用地を活用したコミュニティガーデンと 菜園運営事業

提案企業名 **DAIKEN株式会社**

事業概要 区の未利用地をコミュニティガーデンや菜園に整備し、
区民が利用できるスペースを提供します。

総事業費：189万8千円

補助上限額：94万9千円（総事業費の1/2）



写真：他自治体での未利用地活用事例

多文化共生の取組み

学校における

◆日本語指導教室の充実

2,118万円

来日して間もない児童・生徒に対し、学校への適応を目的とした日本語指導を行なっています。指導開始までの待機期間を短縮するため指導員を増員し、日本語指導の修了後も学習に困っている児童・生徒に対し、巡回による学習支援をNPO等と連携し実施します。

教育センター

大学等が実施する

◆初期日本語教室への補助

261万円

新規

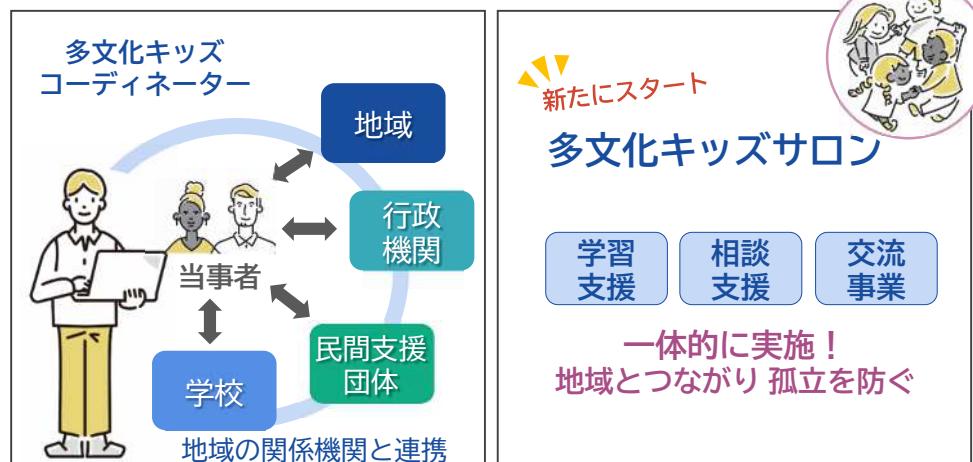
外国语を母語とする日本語が苦手な方々が、日常生活に必要な言葉を学ぶための日本語教室の実施に対し、補助金を交付します。

生涯学習・スポーツ課

◆多文化キッズサロンの開設・運営と 多文化キッズコーディネーターの配置 2,323万円

新規

日本語を母語としない児童や保護者が地域とつながりを持ちながら孤立を防ぐための、学習支援、相談支援、交流事業を一体的に行う「多文化キッズサロン」を開設・運営します。また、「多文化キッズコーディネーター」が核となって、様々な困りごとに寄り添い、関係機関と連携しながらアウトリーチで支援します。



◆外国人向け生活ルール等の 動画の作成 239万円

新規

日々の生活に必要なルールや税・保険制度などを知らない外国人に対して、テーマごとに短く簡潔に伝えるアニメーション動画を作成します。

한국어

中文



Tiếng Việt

မြန်မာဘာသာ

にほんご

नेपाली

多文化共生推進担当

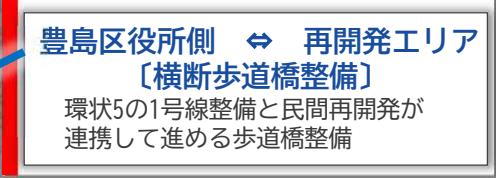
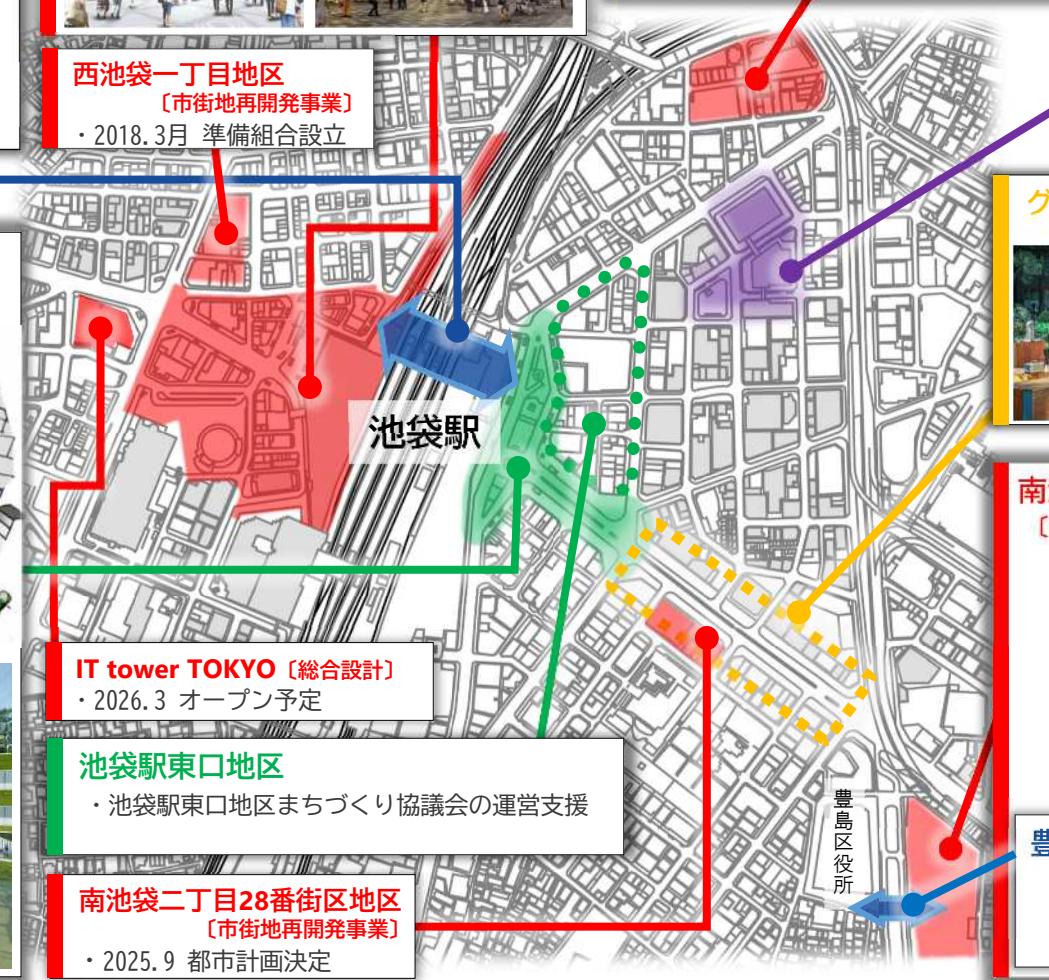
多文化共生課を創設

地域コミュニティとの交流や、災害時に必要な防災知識、区民生活に身近なごみ捨てルールの提供等の施策をさらに推進するため、区民部に「多文化共生課」を創設します。

ウォーカブルなまちづくりの推進

Walkable

池袋駅周辺地域の再生

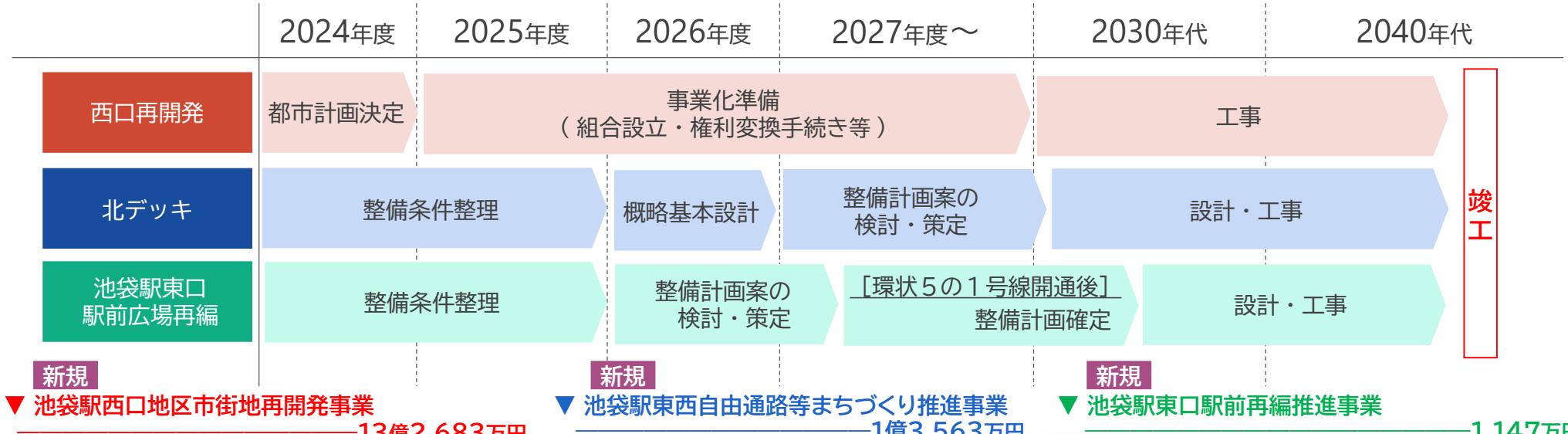


ウォーカブルなまちづくりの推進

Walkable

池袋駅周辺地域の再生

池袋駅西口地区市街地再開発事業の事業化準備を促進し、さらに駅の再生を推進



西口再開発（池袋駅西口地区）

- ・事業計画策定に向けた基本設計



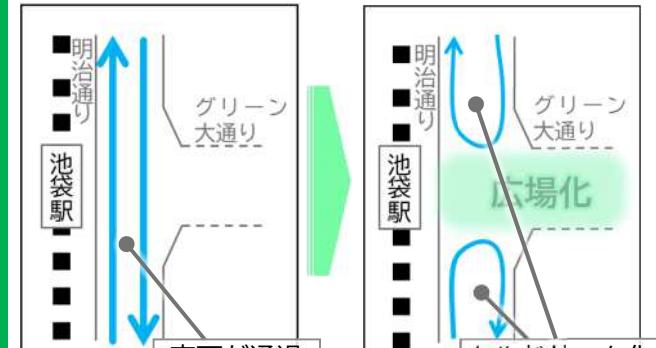
東西自由通路（北デッキ）

- ・北デッキ実現に向けた概略基本設計



東口駅前再編（クルドサック化）

- ・整備計画案(位置・形状・規模など)検討



豊島区公園等再構築プランの目指す姿

身近な「私たちの公園」



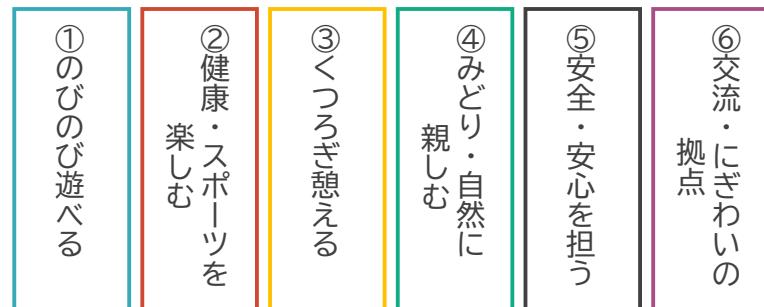
方針1 地域の特徴を生かした公園づくり

- ①公園ごとに役割を明確にし、機能の適正な配置に沿った再整備

方針2 地域の人々に愛され、親しまれる公園を育てる

- ①地域の合意に基づいた柔軟な公園運営
- ②地域コミュニティの活性化を促進する支援

公園の6つの役割



モデル地域



◆公園等の再構築 1,028万円

新規

「豊島区公園等再構築プラン」の策定にあたって、区民ワークショップを開催したモデル3地域において、再整備や利活用を進めます。令和8年度からは、高松・要町・千川地域の調整・整備等を行います。

◆高松三丁目公園の整備 1億1,850万円

新規

公園等再構築プランに基づき、モデル地域の高松・要町・千川地域において、地域の核となる公園を高松地区に整備します。

学校改築の推進

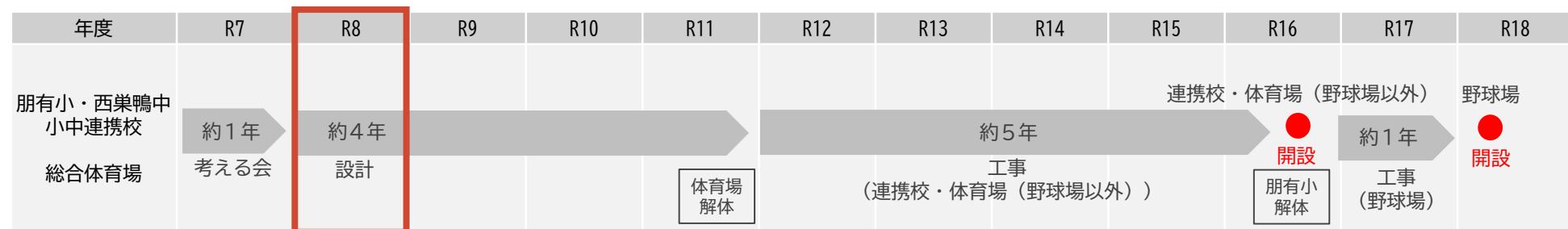
◆千川中学校複合施設の整備 18億8,767万円

千川中学校の改築にあわせて、西部子ども家庭支援センター、児童発達支援センター、教育センター（日本語指導・不登校対策支援を除く）を複合化し、西部エリアの新しい子育て支援の拠点と地域交流が生まれる場を創出します。（令和10年9月開設予定）



◆朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型小中連携校と総合体育場の整備 7,630万円

朋有小学校と総合体育場の敷地を一体的に活用し、現在の総合体育場側に朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型小中連携校を整備します。
「考える会」による地域からの提言をもとに、令和8年度より小中連携校及び総合体育場の設計に着手します。



◆駒込地区仮校舎の整備及び駒込中学校の改築 2億917万円

駒込小学校の隣地を民間から定期借地し、駒込中学校、駒込小学校、仰高小学校の改築のための仮校舎を整備します。
令和8年夏までに既存建物の解体を終え、秋からは仮校舎の整備工事に着手します。あわせて「考える会」にて駒込中学校の改築検討を行います。



主な公共施設の整備

◆ 重度障害者グループホーム等複合施設の整備 新規 991万円

旧高松第一保育園解体後の跡地において、重度障害者の「親なき後の住まい」となる重度障害者グループホームを誘致します。グループホームのみならず、障害者からのニーズが高いサービスを付加した多機能型の複合施設としての整備も検討し、重度障害者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる基盤を整備します。
(令和13年度開設予定)

区内では、niimaに続く2施設目

	旧高松第一保育園	niima（ニーマ）
敷地面積	約920m ²	約490m ²
グループホーム定員	20名（予定）	15名

[旧高松第一保育園住所：高松3-10-7]

障害福祉課

◆ 児童養護施設の誘致 278万円

千川中学校複合施設へ移転後の西部子ども家庭支援センター跡地において、公募により選定した事業者による整備を行います。事業者公募に向け、土地の境界確定及び施設内容の検討を進めます。（令和13年度開設予定）

[現・西部子ども家庭支援センター住所：千早4-6-14]



◆ 千早図書館の改築 1億4,630万円

千早図書館の改築に向けた設計及び建物解体を行います。



令和8年3月16日
休館
令和8年6月～令和9年1月
解体工事
令和9年4月～令和10年9月
新築工事
令和10年12月
新館開設予定

令和8年4月～令和10年11月
臨時窓口開設

旧千早地区保育所仮園舎に臨時窓口を開設し、
予約資料の受渡などのサービスを行います

ほかにも！
令和8年6月、上池袋図書館が
リニューアルオープン！



図書館課

◆ 区立舞台芸術交流センターの劇場舞台装置等の更新 新規

1億4,463万円

区立舞台芸術交流センター（あうるすぽっぽ）の舞台装置等の更新に向けた準備を進めます。（令和9年度改修予定）

職場環境の改善による質の高い区民サービスの提供

◆ フリーアドレスに対応した庁舎オフィス改革 新規 1,024万円

職場環境を改善することで、職員の生産性向上やコミュニケーションの活性化、事務スペースを有効活用するため、フリーアドレスに対応したユニバーサルレイアウトを政策経営部でトライアル導入します。また、組織改正にも柔軟に対応できる機能的なオフィス改革を進めます。

フレキシブルな座席配置

組織・コミュニケーションの活性化

質の高い区民サービスの提供



総務課

◆ 窓口等でのAI活用 新規 400万円

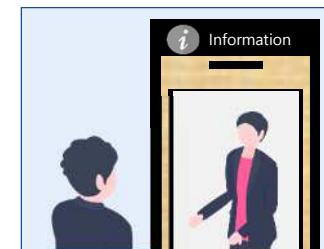
窓口業務省力化の一環として、次年度、庁舎1階総合案内の無人端末等の運用を試行します。

庁舎1階総合案内

AIによる手続き案内等の実証

手続き窓口

多言語翻訳ディスプレイ等の実証



AI活用で窓口対応の質を高める

◆ AIアプリを活用した業務変革 新規 496万円

職員が行う定型業務をAIによる自動処理に置き換えるとともに、統計情報の分析や計画策定の支援など、高度な業務についてもAI活用を進めるため、新たなAIサービスを導入します。

◆ 電話自動録音機能の導入 新規 3,717万円

電話録音のための外付け機器を導入し、本庁舎等の着信通話において自動アナウンス+自動録音の運用を開始します。

国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策

令和8年第1回区議会定例会に補正予算案として提出

としま賃上げ促進支援金の支給

予算額
4億1,121万円

中小企業・小規模事業者の賃上げの促進のため、従業員規模に応じた支援金を支給します。

要件

- ✓ 令和8年4月1日から令和8年12月15日までの間に、前月比で基本給を3%以上引き上げ
- ✓ 賃金台帳等の写しにて、前月と対象月の基本給または時間給等を比較
- ✓ 週20時間以上勤務する従業員を対象
- ✓ 労働条件通知書または雇用契約書等にて、労働条件を確認

内容

従業員1人あたり、5万円支給（1事業者上限50万円）

産業振興課

人材確保支援金・訪問介護支援金の支給

介護・障害福祉サービス事業所における、福祉人材確保のため、支援金を区独自に支給します。

さらに、訪問介護報酬引き下げの影響を緩和するため、訪問介護事業所を対象に上乗せ支援を実施します。

介護サービス事業所

予算額
8,602万円

種別	対象	金額
人材確保支援金	通所・入所・訪問系事業所	1事業所あたり 15万円
訪問介護支援金	訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護事業所	1事業所あたり 53万円

介護保険課

障害福祉サービス事業所

予算額
4,339万円

種別	対象	金額
人材確保支援金	通所・入所・訪問系事業所等	1事業所あたり 15万円

障害福祉課



令和8年度（2026年度）

豊島区

当初予算案プレス発表

政策経営部広報課 03-4566-2533

